

授業科目	介護福祉特講 Care Theory			担当教員	坂本 雅俊・種橋 征子		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1・2年／前期	必修・選択	選択
授業のねらい							
<p>本講義は、介護理念に基づく介護専門職として必要不可欠な資質について論究し、これまでの介護技術を中心とした狭義の介護にとどまらず、広義に介護を探究する。また、社会福祉全般にかかわってくるケアについても探究していく。要介護者本人や家族、それを取り巻く地域や社会動向も視野に入れながら介護問題を中心に幅広く検討し、利用者の生活、人生のQOLの向上を目指し、その時・場に応じた判断を根拠に支援できる介護を探究するものである。</p>							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
関心・意欲 ・態度	対人援助専門職として、ケアを意識することができる。			意見発表		10 %	
思考・判断	周囲の意見も踏まえながら、考えを進め、膨らますことができる。			課題レポート 随時レポート 意見発表		30 % 10 % 10 %	
技能・表現	自己の専門職としてのケア観を述べることができる。			課題レポート 随時レポート		20 % 10 %	
知識・理解	職業としてのケアの持つ意味、意義を説明できる。 文献等の要約ができる。			随時レポート		10 %	
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>学期末の課題レポート（50%）、随時のレポート（30%）や授業での意見発表（20%）等から、総合的に評価する。授業での意見発表やレポート講義のフィードバックは授業内に行う。</p>							
授業の概要							
<p>専門的介護の視点で、これからの介護を検討していく。また、ケアの視点は介護だけでなく広範囲に通じるものであるため、ケアの視点から問題意識を持ち、検討していく。特に、ケアの初期から終末にかけてはケアの実践は変化していくことになるが、ケアにおける本質的な変化があるのか否かといった問題について、共に学んでいく場とするために、意見交換をしながら授業を進めていく。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：介護福祉研究会監修「介護福祉学」（2002）中央法規出版（株） 参考書：必要に応じ随時、資料の配布や文献等を紹介する。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>介護専門職でなくとも、ケアの視点を人間性の視点としてもってほしい。また、その視点から捉えた課題や意見等を積極的に発言して欲しい。 これからの介護は社会的な課題でもある。また介護が終末まで関係することから、いわゆる終活についても授業で取り扱うため、学生個々人の死生観を尊重したい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	介護の概念 (坂本・種橋)	ケアとは幅広い概念であり、看護や介護だけとは限らない。対人援助に不可欠な要素として、ケアとは何かについて。	予習・復習:ケアとは何か、自分はケアをどう捉えるか考える
2	介護とは (坂本)	看護・介護に至るケアの歴史について。	予習:ケアの語源を調べる 復習:論点整理
3	介護から介護福祉へ (坂本)	メイヤロフのケアの本質、ケアリング理論について。	予習:ケア論の文献を読む 復習:論点整理
4	介護福祉の歴史について (坂本)	人類の歴史のなかの介護について	予習:ケア論の本質を読む 復習:論点整理
5	介護福祉の専門性 (種橋)	介護の理念、倫理、機能、教育、役割について	予習:介護の専門性を読む 復習:論点整理
6	介護の合理性と介護過程 (種橋)	介護過程やその意義、介護の専門性への関わりについて検討する。	介護過程と専門性の関わりを予習し、専門性を復習する
7	ケアマネジメント① (種橋)	介護保険制度におけるケアマネジメント過程を解説すると同時に、本来ケアマネジメントとは何なのか検討する。	ケアマネジメントについて予習し、復習として本来のケアマネを考える
8	ケアマネジメント② (種橋)	在宅生活を維持していくために必要なものは何かを考察し、ケアプランを検討する。	ケアプランを作成するための事例を考える
9	ケアマネジメント③ (種橋)	現介護保険制度の中におけるケアマネジメントの課題を理解し、今後の課題を検討する。	予習でケアマネジメント会議について考え、復習では課題を考える
10	介護を取り巻く社会状況① (種橋)	介護保険制度が始まって以降も、介護は重度化・高齢化・長期化・多重化してきている。老老介護(共に高齢者の夫婦・親子・兄弟)、認認介護等の現状を考察する。	介護社会の状況を予習し、復習では単身高齢者についての課題を考える
11	介護を取り巻く社会状況② (種橋)	介護保険制度で家族介護はどのように変化したのか。また、家族介護そのもののあり方や今後について考察していく。	家族介護の現状を予習し、そして今後の方向性について復習する
12	介護を取り巻く社会状況と今後① (種橋)	社会とのかかわりの中からこの介護問題を考察していく。家族介護者の支援も含め地域として介護(ケア)のシステムを検討する。	地域の支援としての介護を予習し、復習ではその課題について考える
13	介護を取り巻く社会状況と今後② (種橋)	介護予防 今後の要介護高齢者の増加に対応して介護予防が重視されてきたが、本来の介護予防の在り方についても考察していく。	予習では介護予防を考え、復習では介護予防給付の行方とその課題を考える
14	介護を取り巻く社会状況と今後③ (種橋)	高齢者の多死時代の到来、在宅医療・在宅介護重視、介護人材不足等、介護を取り巻く厳しい状況の打破を検討する。	予習では地域包括ケアシステムを調べ、復習では介護人材不足を考察する
15	介護を取り巻く社会状況と今後④ (種橋)	介護を取り巻く社会状況は、福祉や教育、生活を取り巻く状況でもある。現状を自由に検討し、時の経過も視野に予測し、今後のあり方を考察して行く。	今後あるべき社会の課題を考える